



ロータリーのビジョン声明

私たちは世界で、地域社会で
そして自分自身の中で
持続可能な良い変化を生むために
人びとが手を取り合って
行動する世界を目指しています

ポリオ根絶まであと一步のところまできたロータリーは、次なる課題に取り組む心構えができています。より多くの仲間を迎え入れ、より大きなインパクトをもたらし、世界に変化を生み出すための新たなビジョンの実現に向けて、行動を起こす時が来ています。

国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを達成するため、今後5年間の活動を方向づける4つの優先事項が定められました。

ロータリーの戦略的優先事項と目的

より大きなインパクトをもたらす

- ポリオを根絶し、残された資産を活用する
- ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- 活動成果を挙げ、それを測る能力を高める

参加者の基盤を広げる

- 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- ロータリーへの新しい経路を創り出す
- ロータリーの開放性とアピール力を高める
- インパクトとブランドに対する認知を築く

参加者の積極的なかわりを促す

- クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- 価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
- 個人的／職業的なつながりを築くための新たな機会を提供する
- リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

適応力を高める

- 研究と革新、および進んでリスクを負うことへの意思を奨励する文化を築く
- ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- 意思決定における多様な考え方を育むために、ガバナンスを見直す

ロータリーの中核的価値観

今日の世界は、1905年の世界と同じではありません。人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、テクノロジーによってつながりや奉仕の新たな機会が生み出されています。不変なのは、ロータリーを定義づける下記の価値観に対するニーズです。

**親睦
高潔性
多様性
奉仕
リーダーシップ**

過去を敬い、未来を見据えながら、私たちは進化を遂げ、ロータリーを時代に即した組織とするだけでなく、繁栄させることができます。



rotary.org/actionplan

国際ロータリー第 2660 地区 地区ビジョン

- ◆ 私たち第2660地区はRIテーマを理解し、地域の特性にあった活動を行うことにより具現化します。
- ◆ ロータリーの原点である親睦と職業奉仕を根幹とし、世界及び地域社会でよい変化を生み出します。
- ◆ 世界の未来を担う青少年の活動を支援し、若きリーダーの育成に努めます。
- ◆ それぞれが「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブになる事を目指します。

地区中期 5 ヶ年目標 (2017-18～2021-22 年度)

1. クラブのサポートと強化

- 各クラブが将来のビジョンを持つように推奨します。
- クラブ会員基盤を強化します。
- 会員規模については毎年度少なくとも各クラブでの純増 1 名を目指します。
年令・男女構成比等の中期計画をもとに、会員維持・会員増強・クラブ拡大を支援します。

2. 人道的奉仕の重点化と増加

- ニーズを把握し人々と共に手をつなぎ、成果の持続可能な奉仕を強化します。
- 財団補助金の一層の利用促進を目指します。
- ロータリー財団及び米山記念奨学会への寄付を推進し、寄付ゼロクラブが無くなる事を目指します。

3. 公共イメージと認知度の向上

- ロータリーの奉仕活動によって感動と誇りを得、その魅力を周りの人々に伝えます。
- 地域社会に開かれたロータリー活動を実施し、公共イメージ向上を推進します。
- IT 化の推進をはかり、マイロータリーの登録率 80%、クラブセントラルの活用率 90%を目指します。

クラブビジョン

歴史と伝統

地域・社会への役立ち！その先へ！

History and Tradition 「Serving for the local community for brighter future」

1. 日本のロータリーの原点を見据えてRCの未来を創ります。
(2020年10月20日 日本のロータリー誕生100周年)
2. クラブ会員数は安定的 名を目標とし、「四つのテスト」の主旨を理解していただける方の入会を推進します。
3. 全員が参加することにより、喜びと意義を感じる親睦活動及び地域・社会への奉仕活動と共にクラブとして危機管理対応やSDGsそして公共イメージの向上を常に意識して推進します。
4. RI テーマや地区テーマに沿った活動に努めます。
5. 地区補助金・グローバル補助金を活用した新たなプロジェクトの企画立ち上げを検討します。
- RC独自の持続的奉仕活動を共に推進します。
6. RACとの協働を高めると共に、IACの提唱に取り組みながら米山奨学生への支援を継続的に行います。
7. ロータリー財団・米山奨学会への寄付金の目標額達成に務めます。
8. RI の方向性を確認しながら、次世代を担う人材がロータリー活動の意義を実感できるクラブへと進化します。

Ⅱ. ■■■ロータリークラブの長期計画

—創立 60 周年に向けて—

2019 年 6 月 6 日
理事会にて承認

○使命とビジョン

創立時の「決して及第点を取ることを目標としない、其れよりも事実上 お互いよいお友達同士になって、地域社会の向上と世界の人々のために其れが何か小さな事であってもお役に立てたらよい」との志の下に 50 年にわたり培われてきた地味な品格のあるクラブを、持続しゆっくり発展してゆく。

○重点目標項目

1. 奉仕活動を地道に取り組む

RI、地区活動への参加

クラブ自主活動は、次世代青少年の育成と環境問題を中心に■■■市への地域貢献を、他団体とのコラボレーションも視野に

2. 会員の質的・量的拡大を図る

会員数 ■■名

40・50 歳代会員と特に地域の方々と女性会員の拡大を

但し、数を増すのみを目的とせず、当クラブに馴染める相応しい人が望ましい

3. 全員参加の実を図る

1 人 1 委員会所属、1 人 1 役が原則

4. 次世代の育成を図る

入会後できるだけ早く役職に就き、ロータリーの理解の機会を得る

5. クラブに対する地域の理解を深める

行政、他団体、他クラブとの連携交流と地域への広報 P R

6. 会費等の経費の低減を図る

合理化と経費を見直し、年会費の低減も検討する

一般会計と活動会計のメリハリをつける

ロータリークラブ「クラブビジョン」及び「中期 5 ヶ年目標」

第 1. クラブビジョン

ロータリークラブは、社会のリーダーとしての見識と品格及び寛容の精神を持つ人々が、ロータリーの原点である親睦と職業奉仕を基本に集い、切磋琢磨する中で自らの内に良い変化を生み出すとともに、世界の平和と人々の幸福のために奉仕活動を実践する、清新にして魅力あるクラブを目指します。

第 2. 中期 5 ヶ年目標

1. クラブ運営

- (1) 例会をより楽しく、充実した内容にするとともに、出会いと友情・親睦の基盤を強化し自己研鑽の場とする。
- (2) 全会員が何らかの奉仕活動にかかわることを目指す。
- (3) 研修を重視し、ロータリーの理念の周知を図る。
- (4) 新たな職業領域に属する人材の入会を促進し、大企業・オーナー企業・専門職のバランスの取れた会員増強を目指す。

2. 奉仕活動

- (1) 「人が育つ」を基本理念とし、ロータリークラブに相応しい奉仕活動を実施する。
- (2) 奉仕活動については、期間（3 年）を定め、見直しを行うものとする。
- (3) グローバル奨学生を支援する。
- (4) クラブ記念基金を活用し、地域を問わず、社会のため人のためになる事業を実施する。

3. 公共イメージの向上

- (1) 個々のロータリアンが公共イメージ向上の担い手であることを自覚し、行動する。
- (2) 一般市民の参加可能なプロジェクトを立案し、実行する。

2020（令和 2）年 2 月 27 日

ロータリー精神のもと、奉仕と友情でつながる仲間であることに誇りを持って
地域社会並びに国際社会に貢献する

《行動指針》

I. 会員の職業構成と地域の特徴を生かした社会奉仕活動を行う

II. ■■■■■ ロータリークラブの特色を生かした姉妹クラブと連携して、
国際社会への奉仕活動を行う

III. 共に達成感・充実感を味わい、自ら楽しむ、全員参加で開かれた、
より明るいクラブ運営を目指す

《行動計画》	① 2019-2020	■■■■■年度	ビジョン作成
	② 2020-2021	■■■■■年度	奉仕活動開始
	③ 2021-2022	■■■■■年度	■■■■■周年 中間評価
	④ 2022-2023	■■■■■年度	積極的展開
	⑤ 2023-2024	最終年度	クラブのあるべき姿の具現化

ロータリークラブ
会員 各位

会員アンケート

拝啓 錦秋の候 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

いつもロータリークラブの運営にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、すでにご承知のとおり、現在、戦略計画委員会において、当クラブのクラブビジョン及び中期目標の策定を行うとともに、当クラブがより良いロータリークラブとなるよう検討を重ねております。本年8月29日に開催されましたクラブ奉仕部門フォーラムにおきましては、皆様から様々なご意見をお聞かせいただき、誠にありがとうございました。

そこで、改めて会員の皆様に本アンケートによりご意見を賜りたいと存じます。

お忙しいことと存じますが、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. ロータリークラブの組織としての現状について、どのように思われますか(該当する項目すべてに印を付けてください)。

- | | |
|--|---|
| ☐ 現状に満足している | ☐ 現状に不満な点がある |
| ☐ 活発に活動している | ☐ 活動はあまり活発ではない |
| ☐ 自由闊達でオープンな風土がある | ☐ 排他的である |
| ☐ 明るく打ち解けた雰囲気である | ☐ 堅苦しく、よそよそしい雰囲気である |
| ☐ 前例主義である | ☐ 変化に柔軟に対応し、新しい試みに積極的である |
| ☐ その他 _____ | |

2. 会員構成(多様性)のバランスについて、どのように思われますか。

- ☐ バランスが取れている ☐ 取れていない

- 2-2 「取れていない」場合、その理由は何ですか(該当する項目すべてに印を付けてください)。

- ☐ 職業分類に偏りがある ☐ 性別
☐ 年齢層に偏りがある
☐ その他 _____

3. ロータリークラブが、RIや地区の提唱する下記の活動を実施している度合いについてどのように思われますか。

活動の種類

新会員勧誘

クラブの参加(実施)の度合い

☐ 過度 ☐ 適当 ☐ 不十分 ☐ わからない

会員のためのオリエンテーションと教育	☐ 過度	☐ 適当	☐ 不十分	☐ わからない
地域への奉仕プロジェクト	☐ 過度	☐ 適当	☐ 不十分	☐ わからない
国際的奉仕プロジェクト	☐ 過度	☐ 適当	☐ 不十分	☐ わからない
青少年奉仕プロジェクト	☐ 過度	☐ 適当	☐ 不十分	☐ わからない
クラブの公共イメージ向上活動	☐ 過度	☐ 適当	☐ 不十分	☐ わからない
募金活動	☐ 過度	☐ 適当	☐ 不十分	☐ わからない
ロータリー財団活動	☐ 過度	☐ 適当	☐ 不十分	☐ わからない
米山奨学活動				

4. XXXXXXXXXXロータリークラブの活動に対するあなた自身の参加状況を記してください。

活動の種類	参加状況		
例会	☐ 積極的に参加	☐ 義務的に参加	☐ 不参加
委員会活動	☐ 積極的に参加	☐ 義務的に参加	☐ 不参加
会員増強	☐ 積極的に参加	☐ 義務的に参加	☐ 不参加
会員のためのオリエンテーションと教育	☐ 積極的に参加	☐ 義務的に参加	☐ 不参加
地域への奉仕プロジェクト	☐ 積極的に参加	☐ 義務的に参加	☐ 不参加
国際的奉仕プロジェクト	☐ 積極的に参加	☐ 義務的に参加	☐ 不参加
青少年奉仕プロジェクト	☐ 積極的に参加	☐ 義務的に参加	☐ 不参加
クラブの公共イメージ向上活動	☐ 積極的に参加	☐ 義務的に参加	☐ 不参加
募金活動	☐ 積極的に参加	☐ 義務的に参加	☐ 不参加
ロータリー財団活動	☐ 積極的に参加	☐ 義務的に参加	☐ 不参加
米山奨学活動	☐ 積極的に参加	☐ 義務的に参加	☐ 不参加
親睦活動(テーブルミーティング、家族会、同好会等)	☐ 積極的に参加	☐ 義務的に参加	☐ 不参加

5. あなたは、XXXXXXXXXXロータリークラブの活動およびプロジェクトに参加して満足されていますか。

☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ 不満足

5-2 「不満足」の場合、どうしてですか(該当する項目すべてに印を付けてください)。

- ☐ 自分の知識不足 ☐ その活動についての情報が不足している
☐ 性格的に合わない ☐ リーダーや他の会員から支援がない
☐ 出費が多い ☐ 個人的な時間の不都合
☐ その他(具体的に) _____

6. 下記の会員活動に関する費用をどう思われますか。

費用の種類	費用に対する見解		
クラブ会費	☐ 過度	☐ 妥当	☐ 不十分
夜間の会合等の臨時の会費	☐ 過度	☐ 妥当	☐ 不十分
奉仕プロジェクトへの寄付	☐ 過度	☐ 妥当	☐ 不十分
ロータリー財団への寄付	☐ 過度	☐ 妥当	☐ 不十分
米山奨学会への寄付	☐ 過度	☐ 妥当	☐ 不十分

義援金・募金等

☐ 過度

☐ 妥当

☐ 不十分

親睦活動への参加費

☐ 過度

☐ 妥当

☐ 不十分

その他(具体的に) _____

☐ 過度

☐ 妥当

☐ 不十分

7. ロータリークラブに入会して良かったと思われる(期待している)ことは何ですか。

☐ 自己研鑽

☐ 尊敬する信頼できる多様な会員との出会い

☐ 家族を含めた親睦

☐ 奉仕活動

☐ 国際交流

☐ 実業に有益な知識が得られる

☐ リーダーシップの習得

☐ その他 _____

8. あなたは、 ロータリークラブにおいて、どのような奉仕活動に参加したいと思われますか(該当する項目すべてに印を付けてください)。

☐ 出前授業

☐ 職場訪問

☐ 社会奉仕

☐ 国際奉仕

☐ 米山奨学生

☐ ローターアクト

☐ インターアクト

☐ 青少年奉仕

☐ RYLA セミナー

☐ クラブ奉仕

☐ 会員増強

☐ 広報・公共イメージ向上

☐ その他 _____

9. ロータリークラブは、これからどのような奉仕活動を実施すべきでしょうか。

10. あなたは、毎週の例会を楽しまれていますか。

☐ はい

☐ いいえ

10-2 「いいえ」の場合、どうしてですか。

理由(具体的に) _____

11. 例会の運営について、どう思われますか。

(1) 進行について

(2) 卓話講師について

(3) テーブルローテーションについて

12. ■■■ロータリークラブの会合をより良いものにするためのアイデアをお聞かせください
(該当する項目すべてに印を付けてください)。

- | | |
|---|--|
| ☐ より良い講演者 | ☐ 親睦活動をより強調する |
| ☐ プログラムのテーマを充実する | ☐ 職業に関する情報を増やす |
| ☐ 奉仕の機会を増やす | ☐ 時間の管理をより良くする |
| ☐ より多くの会員が活躍する機会を増やす | |
| ☐ 地域社会と交流する機会を増やす | ☐ 家族が参加する機会を増やす |
| ☐ その他(具体的に) | |
-
-

13. テーブルミーティングのあり方について、どのように思われますか。

14. 会員増強について、どのような方策が望ましいでしょうか。

15. ■■■ロータリークラブにおけるITの推進にあたって、具体的にどのような方策
が考えられますか

16. あなたの配偶者／パートナー／家族は、あなたがロータリーに参加していることに関して
どのように思っておられますか(該当する項目すべてに印を付けてください)。

- | | |
|--|---|
| ☐ 誇りに思っている | ☐ 時間をかけすぎと思っている |
| ☐ もっと知りたいと思っている | ☐ 費用がかかり過ぎと思っている |
| ☐ 他のロータリー配偶者／パートナー／家族との交流を求めている | |
| ☐ ロータリーのことをよく知らない／関心がない | |
| ☐ その他(具体的に) | |
-
-

17. あなたのロータリー歴は何年ですか。

- ☐ 3年以内 ☐ 4～10年 ☐ 11～20年 ☐ 21年以上

18. 最後に、■■■ロータリークラブの運営全般に関して、忌憚のないご意見をお聞かせく
ださい。

以上